

CASBEE-建築(新築)2016年版
築港第7プロジェクト■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

スコアシート 実施設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		重み係数		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.5
Q1 室内環境			0.40		-	2.9
1 音環境		-	0.15	2.1	1.00	2.1
1.1 室内騒音レベル	—	-	-	1.0	0.50	
1.2 遮音	—	-	-	3.2	0.50	
1 開口部遮音性能	—	-	-	3.0	0.38	
2 界壁遮音性能	—	-	-	3.0	0.38	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	ΔLL(Ⅱ)-3	-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	ΔLH(Ⅱ)-2	-	-	4.0	0.25	
1.3 吸音	—	-	-	3.0	-	
2 温熱環境		-	0.35	2.6	1.00	2.6
2.1 室温制御	—	-	-	3.0	0.50	
1 室温	—	-	-	3.0	0.63	
2 外皮性能	—	-	-	3.0	0.38	
3 ゾーン別制御性	—	-	-	-	-	
2.2 湿度制御	—	-	-	1.0	0.20	
2.3 空調方式	—	-	-	3.0	0.30	
3 光・視環境		-	0.25	3.3	1.00	3.3
3.1 昼光利用	—	-	-	4.1	0.30	
1 昼光率	—	-	-	4.0	0.50	
2 方位別開口	南、東の両面に窓がある。	-	-	5.0	0.30	
3 昼光利用設備	—	-	-	3.0	0.20	
3.2 グレア対策	—	-	-	3.0	0.30	
1 昼光制御	—	-	-	3.0	1.00	
3.3 照度	—	-	-	3.0	0.15	
3.4 照明制御	—	-	-	3.0	0.25	
4 空気質環境		-	0.25	3.3	1.00	3.3
4.1 発生源対策	—	-	-	4.0	0.63	
1 化学汚染物質	ほぼ全面にF☆☆☆☆を使用	-	-	4.0	1.00	
4.2 換気	—	-	-	2.3	0.38	
1 換気量	—	-	-	3.0	0.33	
2 自然換気性能	—	-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮	—	-	-	1.0	0.33	
4.3 運用管理	—	-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視	—	-	-	-	-	
2 喫煙の制御	—	-	-	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	2.6
1 機能性		2.1	0.40	2.2	1.00	2.1
1.1 機能性・使いやすさ	—	3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性	—	-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応	—	-	-	3.0	1.00	
3 バリアフリー計画	—	3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性	—	1.0	0.30	1.0	0.40	
1 広さ感・景観	—	-	-	1.0	0.50	
2 リフレッシュスペース	—	-	-	-	-	
3 内装計画	—	1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理	—	2.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	—	2.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保	—	2.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		2.7	0.30	-	-	2.7
2.1 耐震・免震・制震・制振	—	3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	—	3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能	—	3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数	—	2.8	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数	—	3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	—	3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	—	3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	—	3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	—	3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔	—	2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性	—	1.8	0.20	-	-	
1 空調・換気設備	—	3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備	—	1.0	0.20	-	-	
3 電気設備	—	1.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法	—	3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備	—	1.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.0	0.30	3.3	1.00	3.2
3.1 空間のゆとり			-	-	3.6	0.50	
1	階高のゆとり	住居部階高:2.9m以上	-	-	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	-	-	-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		-	-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	1.8
1	生物環境の保全と創出	-	1.0	0.30	-	-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮	-	2.0	0.40	-	-	2.0
3	地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	-	2.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	-	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.3
1	建物外皮の熱負荷抑制	-	3.0	0.20	-	-	3.0
2	自然エネルギー利用	-	2.0	0.10	-	-	2.0
3	設備システムの高効率化	BEI=0.94	3.9	0.50	-	-	3.9
4	効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		-	-	-	-	
4.1	モニタリング	-	3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制	-	-	-	-	-	
	集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング	-	3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	-	3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1	節水	-	3.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	-	3.0	1.00	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60	-	-	2.8
2.1	材料使用量の削減	-	2.0	0.11	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.22	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	リザーブ1000メグリウォール	3.0	0.22	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	-	-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	-	3.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
3.1	有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	-	-	
1	消火剤	-	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ノンフロン断熱材を採用	4.0	1.00	-	-	
3	冷媒	-	-	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.8
1	地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出量=96%	3.1	0.33	-	-	3.1
2	地域環境への配慮		2.3	0.33	-	-	2.3
2.1	大気汚染防止	-	3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善	-	2.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	-	1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	騒音	-	3.0	1.00	-	-	
2	振動	-	-	-	-	-	
3	悪臭	-	-	-	-	-	
3.2	風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制	風害対策に対する要請なし	3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制	-	-	-	-	-	
3	日照阻害の抑制	日陰規制なし	3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	-	3.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-	

CASBEE-建築(新築)2016年版

築港第7プロジェクト

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-			-	-	-	-	-	-					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	2.0		-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	
1.3.2 維持管理用機能の確保	3.0		-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	○	-
2.4.1 空調・換気設備	-		○		-	-	-								
2.4.2 給排水・衛生設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
2.4.3 電気設備	-	-	-	-	-	-	-	-							
2.4.5 通信・情報設備	-		-	-	-	-	-	-							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	1.0		-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-		
2 まちなみ・景観への配慮	1.0		1.0	-	-	-	-	-							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0		-	-	-	-	-	1.0	-	-					
3.2 敷地内温熱環境の向上	7.0		2.0	-	2.0	1.0	-	-	-	1.0	1.0				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無				-											
2.1 材料使用量の削減	-		-	-	-										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-	-								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-		-	-	-	-									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	2.0		-	-	-	-	1.0	-	-	1.0	-	-			
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		-	-	1.0	-	1.0	-							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	1.0		-	1.0	-	-	-	-							
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	2.0		1.0	1.0											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC		0.5	窓の日射熱取得率(η) -										
U値(W/m2K)		窓システム		4.0	屋根		0.6	外壁		1.2	床		2.0
住戸部分		窓システムU値 -				外皮UA値		2.7	η AC -				η AH -
昼光率		1.7%											
自然換気有効開口面積率		3.3%											

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース	.0㎡ /人	病床	.0㎡ /床	シングル	.0㎡ ツイン	.0㎡
--------	--------	----	--------	------	---------	-----

1.1.2 高度情報通信設備対応

コンセント容量 0.0 VA/㎡

1.2.1 広さ感・景観

天井高 2.2 m

1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース % レストスペース %

2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数 0 年

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

想定必要間隔 0 年

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

想定必要間隔 0 年

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔 0 年

3.1.1 階高のゆとり

階高 2.91 m

3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率 30.0%

3.2 荷重のゆとり

床荷重 - N/m2

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数 18% 建物緑化指数 0%

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率 20% 水平投影面積率 29% 地表面对策面積率 11% 舗装面積率 38%

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI_m - 断熱等性能等級 等級3 相当

2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年㎡ 採光を満たす教室数 0.0% 採光を満たす住戸数 0.0%

通風を満たす教室数 0.0% 通風を満たす住戸数 0.0%

3 設備システムの高効率化

BPI/BPI_m 非住宅 - 住宅 0.94 太陽光 .0kW 太陽熱等 .0kW 蓄電池 .0kW

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率 0.0%

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品目 - エコマーク商品 リザーブ1000メガトン森林指定の特定品目等 -

2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率 0.0%

3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) 3

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	154% 隣棟間隔指標Rw 0.12											
地表面对策面積率	17.0%		屋根面对策面積率				0.0%		外壁面对策面積率		0.0%	
見付面積Sb	792㎡	卓越風向と直交する最大敷地幅Ws				37.77 m	基準高さHb					13.55 m
緑地	48㎡	水面	㎡	保水性対策面	㎡	高反射対策面	㎡	再帰性反射対策面	㎡	㎡		